

都島だより

発行責任者

石川 芳夫

〒265-0043
千葉市若葉区中田町1193-13
TEL 043-228-2102一般社団法人浪速工業会
都島クラブ会報

2015年(平成27年)7月 第51号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056

横浜市港南区野庭町696-6

TEL045-841-8885

E-mail har1942umae@iris.ocn.ne.jp

題字デザイン A28岡田宏三

NEWS51号

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ・現在会員数 ◆ 合計515名

◆M・機械103、ME・機械電気25名◆A・建築90名◆E・電気・電子工学169名◆C・土木・都市工学45名◆C I・工業化学・理数56名◆L・普通14名◆工専13名

MIYAKOJIMA CLUB



遠い山々の緑も雨に打たれ、ひとときわ色を深めてまいりました。浪速工業会都島クラブ会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本クラブの運営に何かとご協力、ご支援賜わり厚くお礼申し上げます。この度、四月の総会に於きまして都島クラブ代表の大役を仰せつかりその責任を痛感しております。更なる発展を目指し微力ではありますが各科幹事の方々と取り組んでまいります。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いします。

近年自然災害による国内外に大きな被害が発生しております。人為的な環境破壊から地球温暖化によるものと言われております。政治、経済も一国だけでは対応できない時代であり、今こそ人間の英知を集め地球規模の取り組みを期待したいですね。

我が都島クラブは、先輩諸氏が長年にわたり築いてこられた伝統を各行事開催やMニュース等を媒体として絆を深め世代間の交流の場とし伝統を継承してゆきたいと思っております。結びに、会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

新代表



E 34

石川 芳夫

平成二十七年
浪速工業会・都島クラブ
代表ご挨拶

浪速工業会・都島クラブ

平成二十六年
総会報告

総会報告

4月25日(土) 13時より新宿住友ビル47階の東京住友クラブにて浪速工業会・都島クラブの総会・懇親会が、浪速工業会本部より岩地理事長、寛座学校長を来賓にお迎えし総勢36名の参加で盛大に開催されました。総会議事の後、写真撮影を行い、懇親会に於いてはA28岡田宏三氏(ピアノ)、E35田中浩氏(クラリネット)、A57信原利行氏(ギター)の3名で構成された『TOWN TONS』のミニコンサートで大いに盛り上がりしました。

総会での集合写真



岩地理事長挨拶



寛座学校長挨拶



懇親会でのスナップ



TOWN TONS ミニコンサート

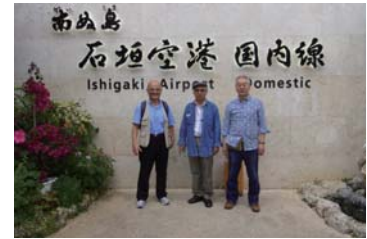
2015.4.25(土) 都島クラブ総会



先輩・同級生とのご縁

E 36 馬江 治喜

沖縄・石垣島を訪ねて



石垣空港にて



都工電気科を昭和36年に卒業して、早いもので54年になりましたが、なぜか今でもいろいろな有難いご縁を頂き、同期の同窓生と年に1回か2回、東京都内のカラオケボックスへ集まりバカ話をしています。その時の話で、赤尾君が沖縄・石垣島へ行って、石垣島の蜚が大変きれいな話を聞き、一度一緒に連れて行ってほしいとお願いすると快く引き受けてくれました。

同期の笹治君と3名で、沖縄・石垣島へ4月20日、23日行く事となり、赤尾君が航空切符の手配をしてくれて、沖縄まではLCCジェットスター便、石垣島へはスカイマークと、これ以上安く行ける便は無いという値段で予約をしてくれました。それもスカイマーク便は会社更生法で運行できなくなったが、ANAに同じ値段で肩代わり交渉してくれた。本当にありがたい事と思います。又沖縄ではM科33年卒の白石さんに連絡すると、快くお会いする事を承諾して頂き、当日わざわざ那覇空港まで、お車で迎えに来ていただき、ご丁寧にも沖縄の名所をご案内していただきました。ありがとうございました。

ございました。私の様な者にこの様なありがたいご縁を戴ける事は本当に何と云って良いか申し訳ない気持ちです。しかしこの御縁は私一人で味合う事ではなく、今後は後輩をはじめ、他の人にもお分けするように致したく思います。

旅行の結果は石垣島での蜚は、北風が吹き寒いという事で、2日間とも蜚観賞のツアーは中止となった。その代り、赤尾君の配慮により、竹富島で、水牛(まんさく君)が引く車に乗り、のんびりと(途中でおしっこ、大便をしたが、バケツで受けて道路に流さなかったがバケツに溜まった匂いが車に流れてきた)島の周りを観光した。そして笹治君とはレンタサイクルで竹富島のあちこちを自由に回った。又グラスボートでサンゴ礁を初めてじっくりと鑑賞した。本当に久しぶりに楽しい旅行でありました。ありがとうございました。

竹富島



竹富島にて



車を引く「まんさく君」と



NHKスタジオパーク

見学会のご案内

行事担当

M 36 西村 功



今年の見学会は昨年「首都圏外郭放水路」の予備としていた「NHKスタジオパーク」の見学を予定しております。

NHKスタジオパークは、番組やキャラクターのオリジナルコンテンツ、番組制作の舞台裏や最新技術による映像上映など、さまざまな展示やイベント、公開番組を通してNHKの多彩な放送にふれることのできる体験型のテーマパークで、ご家族、お子様もご興味があるかと考えております。

開催日時…8月23日(日)

ご家族ご同伴大歓迎

集合場所…JR山の手線渋谷駅ハチ公前

集合時刻…14時00分

申込締切…8月10日

申込先…世話人 M 36 西村 功

〒241-0002

横浜市旭区上白根2-135-15

Eメール: isao.nishimura@mbp.nifty.com

(なるべくメールでご連絡下さい)

見学会

NHKスタジオパーク見学
2015.8.23(日)

有情・無常の道

シルクロードを往く

【その1】



A 27 田中 瑛也



●はじめに

シルクロードは、長安(西安) 漢帝国の都からローマ帝国の都ローマに通ずる陸の一大交易路である。ローマ人は、絹の衣の肌ざわりの感触の魅力に惹かれ、高価な絹を購入し仕立て身にもまとうことを憧れていた。絹の産地中国よりローマに到る8000キロの道への通称である。今日日本人がよく訪れる中国新疆省ウイグル自治区、タクラマカン沙漠を囲む天山南路、西域北路には、絹の道ならぬ東アジアの人々の精神的支柱としての仏教伝来の道として熱い視線を投げかけられている。

墓高窟で多くの仏画、仏像に接し、トルファンの高昌古城で、玄奘法師の足跡を偲び新疆省ウイグル博物館で「楼蘭の美女」の木乃伊と対面した前回シルクロードの旅に続いて、今回はタクラマカン沙漠縦断とカシュガル、ホータン、クチャと西域諸都市を巡りて古に交易で栄え、仏教の篤き信仰の史跡を遺す中国辺境の地に高僧の面影を求める。



写真1・カシュガル・イスラム寺院

●超大国 中国の辺境を彩るイスラム寺院

(写真1)

午前十時三十五分 成田を離陸して途中、北京で国内線に乗り換える時間調整に天安門広場散策で時を費やし、新疆ウイグル自治区の州都

ウルムチに着いたのが、二十三時当地に一夜を過ごし今回の旅の始点となるカシュガルに到着したのが、午前十一時九十一日を費やす。隣国中国ではあるが巨大な国の辺境にたどり着くには、ヨーロッパの一都市に達するよりも時を稼ぐ。文明の利器航空機を使つての物理的空間の距離感のとらえ方の嘆きを文化面へと思いを替えると、常日頃ヨーロッパの言語、建築、美術、音楽等に関心を抱き学び、鑑賞する人々に比べて、今日観光で注目されている中国内陸部のウイグル、イスラム文化に対して我々の持っている知識への関心への距離感は隔てられている。その知識もヨーロッパの東方探検家スタイン、ヘーデン等の業績の輸入に由つて蓄えられた知識である。これらの前提をふまえてカシュガルの市中へと散策に出かける。この都市カシュガルは、隣国キリギスタン共和国、パキスタン共和国との国境も近く西域北道、南道とが交わるシルクロードの一拠点都市である。沙漠といえば、黄砂を思い浮かべるが、その黄砂が空を重苦しく砂でくるむ。街路に面して並ぶ建物の看板は、ここは中国の国土であることを誇示するかの様に、中国文字(漢字)で銀行、飯店等を表示しその文字の下に小さくアラビア書体のウイグル文字が併記されている。バザールは都心の街路で形成され、ウイグル族の商人が忙しく立ち振る舞う。香辛料、金属製品、玉等の装飾品、野菜、肉、ナン(インド風)等の食品を売る店が立ち並ぶ。喧噪の巷と化した相はイスラム都市の薫風漂う。このバザールの一区画をエイティガル寺院の敷地が占めている。この寺院即モスクの建つ敷地面積は、16000㎡、1422年の創建、現存のモスクは1872年に建設された。ちなみにエイティはアラビア語の祭り、ガルはペルシア語の場所を意味し市民の信仰の場であると同時に憩いの場として広く愛されている。バザールの高さを効かす正門の高さ12m、ミナレットの高さ18m、モスクを囲む堀、礼拝堂と黄色の



写真2・アバク・ホージャ墓

煉瓦を積み上げて築かれた構築物は、ペルシア建築のモザイクタイルによつて築かれたモスクの建築を追憶すると、このモスクは素朴な飾り気のない田園のモスクのイメージを抱かせる。煉瓦堀によりて囲まれた境内は、ポプラ並木の整然と並ぶ参道が、礼拝堂へと人々を誘う。ワインカラーの絨毯が敷き詰められ細いしなやかな木の列柱で構成された内部空間は、大規模なドーム空間で構成されたイラン、イスファハンのモスク群の絢爛さと異なり、まさに「貧者の一灯」の志で築かれたモスクの感がする。モスク建設当時のイランとウイグルとの国民総生産等の経済指数の比較は、出来得ないがただそれだけでなく漢民族儒教の国に支配され、されている少数民族ウイグル人の強靱なイスラムの教えに對しての信仰心を讀めるべきではないか。

●アバク・ホージャ墓(香妃の墓) (写真2)

中国国内最大のイスラム都市カシュガルに建つ靈廟アバク・ホージャの墓は、都心より離れた町外れにある。漢風には、香妃と呼ばれるホージャは清朝、乾隆帝の寵愛を受け、その生を都、北京で過ごしたがウイグル人であることへ

の誇りは捨てず、信念を貫いた。その生き様に對して今日に到るも出身地カシュガルの人々は、彼女に篤信を寄せている。この廟は、1640年当時当地を統治したホージャ族の支配者が建立した。靈廟の外観は先に訪れたエイティガル寺院に比べ緑色のタイルで彩られイスラム風靈廟の尊厳を保つ。建物に面して前庭に咲きそうピンク色のバラの花は、イラン・シラーズのバラ園を連想させるとの表現はやや誇大かも知れないが、ほどよい調和を保つ。高さ40mのドーム、4本のミナレットを備え構える厳つい靈廟ではあるが、内部に58の多くの墓が安置されているが、香妃の墓は奥の一隅で静かな眠りに就いている。一歩下がった場所に墓が在ったことが何となく香妃の人物を偲ばせている様な気がした。

●高原の湖 カラクリ湖(写真3)

天山北路を旅する人々は、天山山脈の山々に降雪する雪が融けて、山間にその水を溜めている天池を訪れて、その水が澄んでいることに感嘆する。今訪れるカラクリ湖は天山南路より外れ崑崙山脈の西端に位置しパキスタン国境に近くパミール高原を南方に望む。ここまで来れば中国にいて中国でない異郷の空間にいるとの実感を、自然の風景、人々の表情等から味あう。この湖は、標高3600mに水面が存在し、我が国の誇る名峰富士山の頂上の高さにほど近い。当然高山病の対策を強いられる。黄色い携えにくい酸素を詰め込んだ袋を持ってカシュガルの都市は、標高1300mの盆地にあるので、その差2300mを6時間の時を費やしてバスは駆け上がる。舗装された道路の区間は少なく、砂塵をたてながら傾斜の急な砂利道を登る。途中ゲイズの検問所で厳しいパスポートの検閲は、国境がほど近いことを知らされる。窓外の高度に伴って発生する植物の変化、遠くパミールの連峰の頂きが残雪を被り、空の雲の呼んでいる壮大な自然に眺めている間に、目的地カラクリ湖に着いた。平坦な静寂な黒い水面

は、陽光を存分に受け白い雪を被る周辺の山々と調和の取れた色彩の対照を見せている。ちなみにカラクリとはウイグル語で黒いを意味する。「黒い湖」の湖畔のレストランでは、豪華とまではいかないが空腹であったことも影響してウイグル料理を存分に味あう。食事をする人々の中から「富士山頂ではおむすび程度の食事しかとれないのに。」とこのウイグル料理に満足した面持ちであった。食後湖畔を散策する。ゴングール峰(7719m)ムズターグアタ峰(7546m)とはつきりと雄姿を現し、その壮大さに人間の小さな存在があまり出されたい思である。自然への畏敬の念を抱きつつ湖から、高原から下る。山間の小さな牧草地に放牧された羊の群れが、草を食む風景、行き交う道で出会う小さな驢馬車、キリギスの人々が生を営むこの地方は、中国領ではあるが、中国ではない異郷の田園風景を見せてくれる。

【つづく】



写真3・カラクリ湖

この原稿は2006年に田中瑛也氏より寄稿戴いていましたが、スエーデンの都合でこれまで掲載が出来なかったことをお詫び申し上げます。氏の海外紀行文は大変興味深いもので、本号より分割掲載させていただきます。【編集担当】



春のゴルフコンペ報告

E 36 竹村 繁幸

昨秋のコンペを悪天候のため中止したため、一年ぶりの開催となり、4月26日(木)に好天に恵まれ野田市の紫CCで実施しました。今回は昨年リタイアされた室田文男さん(A42)が初参加していただき12名のコンペ(HC戦)となりました。NET成績1位はGR86(HC7)NET79の室田さんでしたが、ルールにより初参加のため2位と入れ替わり優勝は竹村(E36)GR97(HC16)NET81となりました。BGは実力第一人者の室田さんの86でした。写真は前列左より笹治、室田、明見、大川、竹村、山本。後列左より田中、藤田、長谷、片桐、松本、前田(敬称略)。秋のコンペは10月下旬の予定で、詳細が決まり次第、皆さんに御案内いたします。



春のゴルフコンペ・紫カントリークラブにて

関東青葦会催しへのお誘い

A 37 森 芳信

関東青葦会の本年の催しは『陶芸会』と『房総の小江戸・大多喜』の二本立て企画しました。陶芸会は例年通り陶芸家A46卒 柚木 寿雄氏の工房にて開催します。両企画とも他科の皆さん及び同伴者の参加も大歓迎です。奮ってご参加下さい。

①『陶芸会』

開催日時 10月10日(土) 13時より17時30分
終了後、国立駅周辺にて懇親会開催
開催場所 国立市『くにたち自游工房』
会 費 7,000円(懇親会費含む)



昨年の陶芸会にて

陶芸家 柚木 寿雄氏(A46)の 個展・展示会のお知らせ
http://www.geocities.jp/yunoki_hisao/news



昨年の焼成完了した作品群



完成作品の使用例(メモホルダー)

②

『房総の小江戸・大多喜』
城下町散策と蘇った大多喜町役場



大多喜



開催日時 11月14日(土) 9時~18時
内 容 浜松町バスターミナルで集合、高速路線バスにて千葉県大多喜町まで乗車、昼食を取った後、大多喜の城下町を散策。続いて1959年・日本建築学会賞受賞、保存と再生で蘇った「大多喜町役場」を見学予定。その後、いすみ鉄道に乗り、大原駅付近で懇親会を開催、18時頃の特急に乗りし車内で解散(雨天決行)

会 費 交通費、昼食費、懇親会費は各自負担

★申込方法(①・②共通)

申込締切 9月5日(土)
申込方法 催し名・卒科・年・氏名をFAX
又はEメールにてA37森 芳信まで
FAX 04-7184-8443
Eメール 3tree-yoshi@ic.com.home.ne.jp
(集合場所等詳細はお申込み受付後、案内メール)



大多喜町役場



いすみ鉄道

他科の方及び同伴者も歓迎します。
奮ってご参加下さい!

訃報

A16年卒 藤本 克己氏 平成27年1月4日
CI37年卒 本山 令夫氏 平成26年10月1日
C11年卒 坂口 武氏 平成26年11月18日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号の
Mニュースは平成28年1月
発行予定です。

皆様の原稿をお待ちしています!
事務局までお送り下さい。

桂米左独演会のお知らせ

事務局より



桂米左
独演会



2015年11月8日(日)
浅草見番

上方落語会で活躍中の桂 米左(A59木村 佳氏)恒例の東京独演会の日程について連絡が入りました。ご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。お問い合わせをいただいた方には決定後に詳細案内をさせていただきます。

開催日 11月8日(日) 14時開演

開催場所 浅草見番(台東区浅草3-33-5)

会 費 未定

お問い合わせは 事務局・馬江まで 科、卒年、氏名、参加予定人数を電話、FAX又はEメールにてお問い合わせ下さい。

TEL・FAX 045-841-8885

Eメール har1942umae@iris.ocn.ne.jp